

# 充実した学級経営の工夫

## — やる気をとおして —

### 目 次

I	テーマ設定の理由	77
	研究の全体構造	79
II	研究の仮説	81
III	研究内容	81
1	学級経営について	81
(1)	学級経営の意義	81
(2)	学級経営の基礎、基本	83
(3)	学級経営の重要性	83
(4)	学級経営の領域と内容（担任の仕事）	84
(5)	担任と経営姿勢	85
(6)	児童理解と指導	85
(7)	学級経営の評価	88
2	やる気について	89
(1)	「やる気」とは（意義）	89
(2)	「やる気」と子どもの成長	89
(3)	「やる気」の起こり方	90
(4)	「やる気」の工夫A（語り聞く）	94
(5)	「やる気」の工夫B（ほめる、叱る）	98
IV	学級経営の実践	106
1	年間計画案（語り聞かせ）（別紙P103）	106
2	「語り聞かせ」の展開	106
3	「一週間をふりかえって」の記録	109
V	研究のまとめ	113
1	研究の仮説と検証	113
2	研究の結果	117
3	まとめと今後の課題	121
	※ 参考文献	121

宜野湾市立宜野湾小学校

漢 那 孝 子

## 充実した学級経営の工夫 — やる気をとおして —

宜野湾市立宜野湾小学校教諭 漢 那 孝 子

### I テーマ設定の理由

恵まれた豊かな環境（物質的）の中で育つ今の子どもたちは、体位も向上し性格も明るい。また、間接的な経験（テレビ・ラジオ・読み物・・・）による知識や情報も豊富になっている。その反面、積極的に体を動かして遊んだり、自分の考えで手足を使って物を作ったりする直接的経験は乏しくなっている。また、自然との触れ合いや人間と係わる中で、感動的な経験も少なく、豊かな感情が育つ環境にもあまり恵まれていないような気がする。こうしたことが、子どもたちに身体的機能の退化現象や無気力な精神状態をうみ出し、心身ともにひ弱な子どもにしていると考えられる。私がこれまでに出会った子どもたちをとおして見た中で、気になる状態をあげてみると

- 鉛筆が正しく握れない、削れない。
- 手指が不器用で雑巾を上手にしぼれない、干せない。
- すぐ疲労を訴える、長く歩けない。
- 椅子の背もたれによりかかったり、ほお杖をついたり、じっとしておれず、ぐにゃぐにゃになる。
- 怠けようとする自分の気持ちを反省しつつ、努力することがあまりできない。
- 自分から進んで学習したり、行動したりすることが消極的で、しかも継続しにくい。
- 問題解決や調査研究、勤労的な作業を意欲的に取り組もうとしない。
- 学んだことをその場限りにして、他の場面で応用して生かすことがあまりできない。
- 話しを正確に聞きとれなかったり、聞く態度が定着していないために学力が身につけにくい。

以上のような状態は、自己指導力の基になる自ら学ぶ意欲、つまり「やる気」の欠如から派生していると考えられる。学ぶ意欲の欠如した児童は、やはり積極的に体を動かし、自分の考えで手足を使って物を作る体験や喜びは少ないでしょう。また、指導不足や訓練不足、体験のさせ方から派生することも考えられる。例えば鉛筆が上手に削れない、握れない、おはしが上手に使えない、雑巾が上手にしぼれない、干せない等。ところで教師の児童への接し方を考えた場合「やる気を出して頑張りなさい」「目標をもって計画的にやりなさい」と励ましたり、説教じみたことをすることが多いような気がする。一時的にはよくなるでしょう。しかし長続きしない。「自ら学ぶ意欲や態度」は単に目標や願望があれば育つというものではなく、「自分はこのような生き方をする」という「生き方の自覚」が心の根底にあって育つものだと考える。一つの方策として、教師が語り聞かせをすることで「聞き取る態度」を育て、更に書く活動を通して、自分の考え方が確認できると、「自らの生き方」に関心を持ち自覚する。

このように、自らの生き方を自覚する中で養われた児童一人ひとりの「学ぶ意欲や態度」は学級内の雰囲気と人間関係をよくし、好ましい学級集団をつくり、充実していくと考える。

充実した学級経営は、経営の基礎・基本である「自ら学ぶ意欲と態度」つまり、「やる気をとおして」と考え、本テーマを設定した。

研究の全体構造

学校教育目標

- 健康で強い意志と実践力のある人間を育てる・・・(じょうぶな子)
- ◎深く考え主体的で創造力のある人間を育てる・・・(よく考える子)
- ・礼儀正しく情操豊かな人間を育てる・・・(思いやりのある子)
- ・みんなのために進んで働く人間を育てる・・・(進んで働く子)

学年教育目標

- ・真剣に学習する(知)
- ・他人の立場に立って考え行動する(徳)
- ・最上級生として誇りをもってはたらく(体)

学年の実態(4月)

- ◎与えられた課題は真面目にやる
- ・素直で明るい
- ・やや発表力に欠ける
- ・物事の反応がにぶい
- ◎自分から進んで仕事を見つけて働こうとしない

学級の実態(4月)

- ◎向上心が旺盛であるわりには進んで家庭学習をしない
- ・計画学習、自主学習が上手にできない
- ◎やる気が持続しにくい
- ・無作法な子が多い(言葉あいさつ)
- ◎勤労意欲に欠ける
- ◎自主的活動をあまり好まない
- ・注意を素直に聞く子が多い

学級教育目標

正しいことをやりぬく子  
— よく聞き、よく考える —

目標設定の理由	担任の願い
素直で明るく向上心もあり、知識も豊富にもっている子どもたちが「どうして自ら学ぶ活動する意欲に欠けるのか、継続しにくいのか」そこに視点を置き課題にした。考える力が育っていないとせっかくの知識も生かして使うことができないと見通して「考えが変われば行動や習慣も変わるであろう」と思い目標を設定した。	一人ひとりが自らの力と集団の力で伸びる中で、「見て、聞いて一感じて考える」それを行動に移す。ものわりのよい心豊かな子に育ってほしい。質素の中にも勇氣と落ちつきが物事を着実に処理していけるたくましい子に育ってほしい。 <信念> ・人間の生き方そのものの指導にあたりたい。 ・心、頭、体この三つは同じようにみがく

学年経営の方針

- ・「和をもって貴し」とする
- ・学級の枠をはずした指導態勢とする
- ・学年会には教材研究ができるよう常に問題をもってのぞむ
- ・学習環境の整備に心がける
- ・父母との連携を深めて、教育効果を高める

学年経営計画案

- ・学年経営に生かせる計画案
- ・各学級の実践に結びつく計画案
- ・学年目標達成を考えた計画案(別紙)

児童の変容

期待される変容像を書く

- ・
- ・
- ・

学級経営の方針

- ・一人ひとりが自分の力と集団の力で伸びて行く、実践場面を整え、励まし育てる
- ・最上級生らしい色々な特徴が発揮できるよう方向づける
- ・知的発達を期待するものわりのよい子にするよう、努力する

学級経営計画案

- ・活用しやすい計画案
- ・学級目標達成を考えた計画案
- ・実践に結びつく計画案
- ・人間関係を深め厳しさの中でも楽しさが体験できる計画案(別紙)

児童の変容

- ・差別感がなく、自他を大事にする
- ・自分をふりかえり、他人に迷惑をかけない
- ・あいさつ、言葉使い、みなりが、きちんと態度が明るい
- ・学方向上を図ろうとする態度がある
- ・積極的に学習に取り組み、自力解決を努力する
- ・助け合い、励まし合い、磨き合いで仲間づくりができる

研究テーマ

充実した学級経営の工夫  
— やる気をとおして —

主題設定の理由

多様化する社会に対応して生きていける児童の育成を、どのように考えればよいか、を課題にした。恵まれた豊かな環境の中に育つ子どもたちの長所を認めつつ「自己指導力」の基になる「自ら学ぶ意欲、態度」、つまり「やる気」を育成すれば、きつと高度化、複雑化する社会に対応していけると思う。そのためには全学校生活の基盤である学級を「子どもと担任のやる気」で充実しなければ...と考えた。

親の願い

- ・やさしい思いやりのある子
- ・自分の意見をはっきり言える子
- ・根気強く頑張る子
- ・友達と仲良くできる子
- ・働くことが好きになる子
- ・その他
- ・心の豊かさ、心の教育に関する願いがあった。

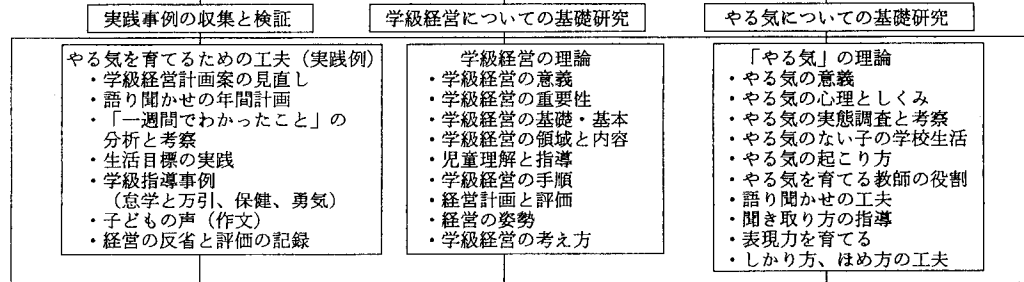
研究の仮説

- ・聞くこと、書くことによって育成された学ぶ態度と意欲つまり「やる気」は、学級内の人間関係と雰囲気をよくし、学級経営を充実させると思う。
- ・学ぶ意欲つまり「やる気」に支えられた学級経営は、教科指導はもちろんのこと、全ての教育活動をスムーズにして、児童に学ぶ喜びをあたえ、更に生涯学び続ける意欲と豊かな心を育てると思う。

研究の目標と方法

学級経営の意義と役割を理解し、「やる気」を通して学級経営の充実を図る。  
研究の方法は、理論的研究と調査研究、最後に研究の仮説を実践事例で検証し研究のまとめをする。

研究内容



研究仮説の検証

学級経営の理解と確認

自ら学び続ける意欲と態度

充実した学級経営の工夫  
— やる気をとおして —

自己指導力と自己実現

充実した学級像

- 心から生き生きと生活できる学級
- きびきびと生活している学級
- はきはきと力を出し切る学級
- いそいそと、よい学級づくりに尽くす学級
- 自分の生活、学習をふりかえり向上を図れる学級

どの子も

研究のまとめ

- ・結果(仮説の検証)
- ・今後の課題
- ・反省

## II 研究の仮説

1. 聞くこと、書くことによって培われた学ぶ態度と意欲、つまり「やる気」は、学級内の人間関係と雰囲気をよくし、学級経営を充実させるものとなるであろう。
2. 学ぶ意欲つまり「やる気」に支えられた学級経営は、教科指導はもちろんのこと、全ての教育活動をスムーズにして、児童に学ぶ喜びをあたえ、更に生涯学び続ける意欲と豊かな心を育てるものとなるであろう。

## III 研究内容

### 1. 学級経営について

#### (1) 学級経営の意義

<学級とは>

- ◎全ての学校生活の基盤である。
- ◎教育の効果と能率を目的として、組織された学習者の集団のことである。
- ◎学習の場であり、生徒指導の重要な場である。
  - ・学習集団であるとともに生活集団である。
  - ・制度的に編成される一定の教育単位である。
  - ・教員配置の基礎単位となる。
- ◎学級担任の取り組みが映える場である。

#### 調査 1

児童が考えている「学級とは」

あなたにとって学級とは

- 発表して、まちがいを訂正したりする所
- みんなで団結して、悪いところを責任をもってなおす
- いろんなことをおしえてくれる所
- 自分の将来のために必要な所
- 人との和をつくるために必要な所
- みんなや先生と仲良くして楽しくする所
- 平等に何でもやる所
- 友だちをふやす所

- 何でも言い合える所
- 自分をみがく所
- 社会にでる練習をする所
- 楽しませてくれる所、教えてもらえる所
- 心を落ちつかせてくれる所
- 遊び合う所
- 同年代の子が友人と長、短所を言い合って互いに伸び合って行く所
- 相談にのってくれる所
- 自分を伸ばす所

## 調査 2

### 学級の充実について

充実している学級とは	充実していない学級とは
<input type="radio"/> 助け合っている <input type="radio"/> 発表どしどし、先生を助ける <input type="radio"/> みんなで良いことをする <input type="radio"/> 頑張っている学級 <input type="radio"/> 挨拶や遊びを頑張っている <input type="radio"/> チームワークのある学級 <input type="radio"/> みんなが一緒に頑張る <input type="radio"/> よい所を取り入れる学級 <input type="radio"/> よい事をすすんでやる学級 <input type="radio"/> 遊び、勉強が両立している <input type="radio"/> おしゃべりのけじめがある <input type="radio"/> 下級生にお手本になっている <input type="radio"/> やるべき事をきちんとやる <input type="radio"/> 真剣にやる <input type="radio"/> 気づいたらすぐ実行 <input type="radio"/> けんかの無い学級 <input type="radio"/> 教える人が変わってもがんばる	<input type="radio"/> 協力しようとしないう級 <input type="radio"/> やるべきことをしない学級 <input type="radio"/> 授業か休み時間が区別できない学級 <input type="radio"/> ドンチャンさわぎをする学級 <input type="radio"/> 先生の言う事を聞かない学級 <input type="radio"/> 心がばらばらの学級 <input type="radio"/> 悪いことをする人がいる学級 <input type="radio"/> おしゃべりをよくする学級 <input type="radio"/> 授業中先生の大声が聞こえる学級 <input type="radio"/> 先生に悪い口答えをする学級 <input type="radio"/> いつでもふざけている学級 <input type="radio"/> かげひなたの子が多い学級 <input type="radio"/> 忘れ物ふざげが多い学級 <input type="radio"/> みんなの心が乱れがちな学級 <input type="radio"/> 自分かってで他人のことを考えない学級 <input type="radio"/> くらい学級 <input type="radio"/> 授業中うるさく先生を先生とっていない学級

自分の学級は充実していると思っていますか。その理由も

充実している (25人)	充実していない (9人)
<input type="radio"/> 静かに勉強している <input type="radio"/> 発表も多くやっている <input type="radio"/> 役にたつことをやっている <input type="radio"/> 清掃もすすんでまじめにやる <input type="radio"/> あいさつがよくできる <input type="radio"/> 勉強を楽しくやっている <input type="radio"/> 明るい、恥ずかしがらずに何でもやる <input type="radio"/> 専科のときも頑張る	<input type="radio"/> なおす所がまだある <input type="radio"/> 男子に忘れ物がある <input type="radio"/> 心がけが良くないところがある <input type="radio"/> おしゃべりがある <input type="radio"/> 自分かってな事をする <input type="radio"/> 1～2組に追いつかれたから <input type="radio"/> 助け合いも、もうちょっと

#### <経営とは>

- ・産業界が対象としている物の生産を向上させる方途という語感が強い。
- ・教育では、対象が人間であるだけに、外的、内的、経過的条件が加わって多様である。
- ・計画に基づいて、人間の共同生活に必要な物を組織を動かして、仕事をすすめる。(運用)

#### <学級経営とは>

- ・学級経営は、教育の目標や目的を達成するための手段である。
- ・学級を、まとまりのある、望ましい集団として組織していくことをいう。
- ・子どもたちを、集団として扱うことにより、最もよい効果をあげようとする営みである。
- ・学習指導、生活指導を可能にし、促進するために児童の実態や、教師の経営方針から、学級目標をさだめ、その具現化を目指して諸条件を整え、その学年に応じた、よりよい教育の効果をあげようとする一切の営みである。

### (2) 学級経営の基礎・基本

#### <基礎>

- ・学校教育目標の具現化  
(学校が目指す児童像をどう実現するか)
- ・的確な学級実態調査と児童理解  
(児童一人ひとりの、心にひびく児童理解をどう深めていくか)
- ・学級生活が「楽しい」、学校生活に「生きがいをもつ」児童を育てる。  
(生き生きとした児童を、どのように育てるか)
- ・開かれた学級、学年、学校の集団活動に、積極的に参加する学級をつくる。  
(誇りのもてる学級を、どう育てるか)
- ・学級経営案の吟味と実践化の工夫  
(人間教師としての反省、同僚、先輩、父母の意見、助言をどう組み入れていくか)

#### <基本>

- ・人権尊重教育の徹底
- ・健康安全教育の充実
- ・教室経営の創意と工夫
- ・家庭、地域との密接な協力
- ・児童評価の知恵と愛情

### (3) 学級経営の重要性

#### <なぜ、学級差がでるのか>

- 授業のやりやすい学級、やりにくい学級、反応がよく明るい学級、注意散漫でしまらない学級・・・学級担任の適切な手だてが必要である。
- ・学級における相互作用の意義が大きい。

例えば・・・個人のはたらきで学級全体が高まり、逆に、学級の高まりが個人個人を向上させていく。

・個人と全体の係わり方、役割り

集団が個人に及ぼす制約、個人の行動が集団を支えることを正しく理解させ、訓練することで、望ましい人間関係が育成される。—よい組織人を作る

\* 家庭や学習塾によって、果たせない、学校教育独自の機能と領域である。この機能を最も発揮するのが、学級という場である。ここに学級経営の重要性がある。

(4) 学級経営の領域と内容—(担任の仕事)

① 児童理解の適切さ

(個人の面から、集団の面から一人の人間として、心の奥まで、理解してやろうとする大切さ)

② 望ましい生活習慣の育成

(行動に表れた面だけでなく、行動の背景にあるもの、内面にあるものに注目して、心の中に自分を律する力を育てることが大切)

③ 児童とともに教室の環境整備

(学校生活の大部分を過ごすところが教室である)

(人間形成に多大な影響を与える生活体験の場である)

(生活しやすい教室を目指して整備する)

(児童の自発的、必要感でやるのが望ましい)

(清掃美化、整備、整頓、掲示物、係活動の用具の保存、設備危険防止)

④ 学習態度の育成—各教科、道徳、特別活動

(学級経営の中心になるものである)

(自主的、自発的、継続的な学習態度の育成)

⑤ その他の教育活動を通して人間関係の浄化

(児童の本来の姿が表われるのは、始業前、給食、休憩時、清掃、放課後の遊びの時間など—このような時間こそ、大きな意味での教育の場である)

⑥ 学級事務の効率化

(諸帳簿の整理、報告、学級会計の処理は雑務ではない。教育行政の末端としての性格をもっている。)

(指導要領、出席簿、健康診断票、毎日の指導記録、金銭出納簿等の正確な処理と学級指導で活用。)

⑦ 家庭との連携の緊密化をはかる。

学級教育の充実を図るのに重要である。方法としては連絡簿、学年学級だより、通知表、家庭訪問、PTA会、授業参観、親子面談等がある。

\*以上のように、経営の内容も量もかなり多い。学級担任の一日の仕事を考えてもよくわか

る。これからの仕事は、担任の指導方針のもとに行われ、かなりの技能と意欲が要求される。

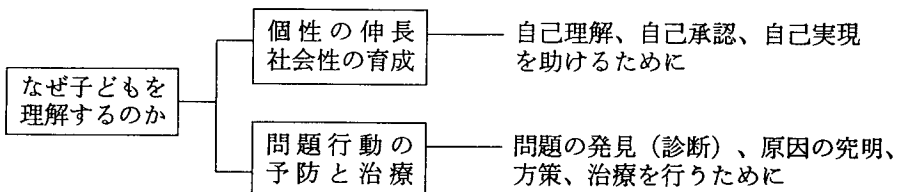
#### (5) 担任と経営姿勢

- ① 「子どもに生きがいを」
  - ・教育の基本的理念である。
- ② 「心のふれ合いを大切に信頼を築く」
  - ・信頼は素直な心を作り、その高まりは真の思いやりを育てる。
- ③ 「心に残る教育を」
  - ・教育の基本は純粋な人間的感化である。
  - ・情熱や感動のない教師からは知識は伝達できても学ぶことへの感動、発見は生まれてこない。
  - ・心に残る教育の感動から「思い出の教師」は生まれる。
- ④ 「子どもに学ぶ姿勢を」
  - ・教師は教える者であるとともに学ぶものでもある。
- ⑤ 「協力によって指導力の高まりを」
  - ・教育愛に燃えても個人の努力には限界がある。チームワークが大切である。
- ⑥ 「学校経営の方針を基本として」
  - ・創意工夫し指導効果を高める。

#### (6) 児童理解と指導

- ① 児童理解の必要性
  - ・教育の最終の目的が一人ひとりの子どもの可能性を追求し、その力を最大限に伸ばすことへの援助であるならば、教育の対象である子どもの理解が最も大事にされなければならない。
  - ・教科の学習も大切であるが、子どもの人格にかかわる指導においては、子どもの精神的なものを理解することが重要視される。
  - ・今日の民主的教育観では、子ども一人ひとりを個性的、独自の存在として認め、それぞれの個性に基づいて個性を伸ばさせることが重要であるとされている。
  - ・民主的な教育を行うためには、教師は子どものもつそれぞれの個性や情緒の傾向をよく把握することが必要である。
- ② 児童理解の目的
  - ・子どもの理解は即指導となるものである。
  - ・指導の前のステップであるという考え方はとりたくない。
  - ・子どもの理解そのものに教育上の目的があるという考えから目的を図示すると次のようになる。





### ③ 児童理解における教師の基本的態度

ア、心の通い合いを信じる

- ・人間として自分と対等に尊い存在である。
- ・将来どのような方向に伸びるかわからない可能性を秘めた存在である。
- ・畏敬の念をもって関心を抱くことができれば必ず心が通ずる。

イ、精神的活動の基本的欲求に応える

- ・安定を求める欲求を充足させる。

自分の人格が傷つけられないという安心感は自己実現への原動力である。

- ・愛情を求める欲求を充足させる。

子どもは、親、教師、友人に愛される、信頼されることによって心を開き、自らもこれらの人々を愛し、信頼するようになる。そして素直、寛容、思いやりなどの心情が育てられる。

- ・成功感、成就感、承認感を味わえるように援助する。

物事を自分でやりとげた快感や、成功したときの喜びや、まわりの人々から認められたうれしさなどの感情は子どもの生きがいに通じ、ますます成長への衝動をもやす。

### ④ 自立過程への援助をする

子どもを理解するということは、一人ひとりの子どもの自立過程への援助を旨とするものである。自分でその気にならなくては自立できない。



授業の中で、教師の説明を聞く子どもの顔

## 児童理解と指導のまとめ

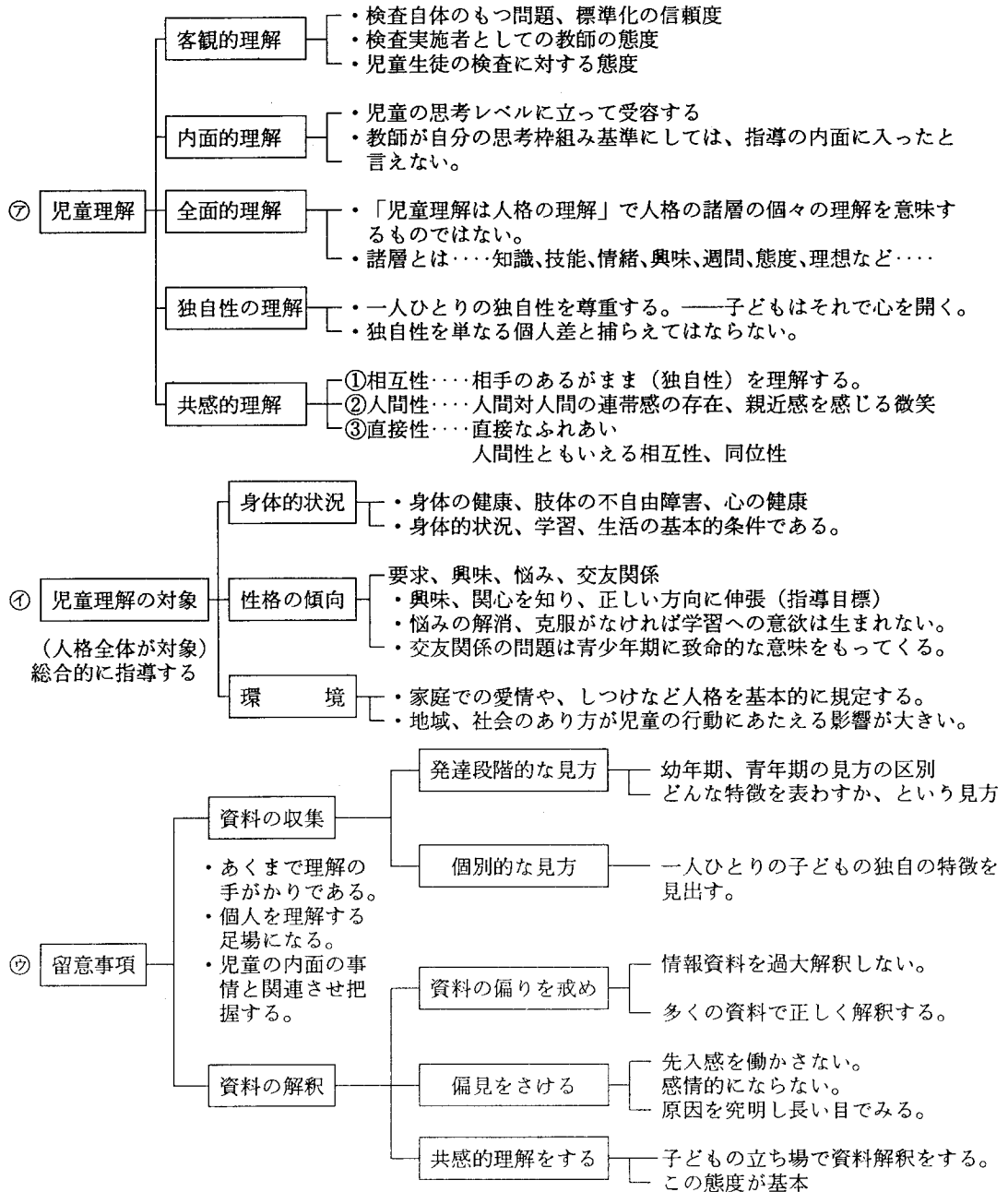
### 考え方

生徒指導のはじまりは生徒（児童）理解からである。

「生徒指導は人生主義に立って」といわれるのもそのことからである。

### 人間主義とは何か

自他を問わず、常にその中にある人間性を尊重し手段ではなく目的として行う。



## (7) 学級経営の評価

学級経営の内容	学級経営の具体的項目	評価の視点	評価
(1) 学級経営の目標 学級経営全般	学級経営の目標の具体化	具体化のための配慮は適切であったか	
	経営上の創意・工夫	経営上の創意・工夫は行なわれたか	
(2) 児童理解	学力と知能	子ども一人ひとりの学力の適切な把握ができたか	
	子どもの人間関係	望ましい人間関係が学級全体にでき上がったか	
	身体の健康状態 問題行動	水準的な成長を示したか 問題行動について積極的に取り組んだか	
(3) 学習指導	学習効果	子ども一人ひとりの学力向上に役立つ適切な指導をしたか	
	子どもの学習意欲	子どもの学習意欲はあがったか	
	子どもの学習態度	子どもの学習態度はよくなったか	
(4) 生活指導 (生徒指導)	計 画	計画は達成されたか	
	子どもとの触れ合い	積極的子どもとの触れ合いを求めたか	
	遊 び	学校内外の子どもの遊びについて理解しているか	
	友 人	たくさんの友達ができるような配慮をしたか	
(5) 環境	教具、資料	教具、資料は整理され、いつも使える状態であったか。	
	教室内の美化	いつも教室は美しく清潔であったか	
	作 品	子どもの作品は計画的に展示されていたか	
	教室内の雰囲気	教室内はいつも学習するにふさわしい雰囲気であったか	
(6) 家庭との連絡	連絡の内容・方法	家庭との内容は分かりやすく方法は適切であったか	
	家庭との協力	家庭は進んで学級に協力してくれたか	
	父母会	父母会には積極的に参加し、発言してくれたか	
(7) 学級事務	計画性	計画性をもって事務を処理できたか	
	迅速性	事務をすばやく処理できたか	

※ 評価することで、経営の良し悪しの原因がわかり、計画の見直しができ、効果的経営がおこなわれる。

※ 評価の仕方

評価基準の設定は困難であるため、自らの基準によって評価する。点数による表現でもよいし、○×でもよい。

## 2. やる気について

### (1) やる気とは

- 言葉をかえて一口で言うと「意欲」ののことである。
  - ~を知ろう  
~をわかるようになろう  
~を身につけよう
- このような目的意識をいう。
- 意欲的な行動である。
  - 単に動きまわる行動ではない。
  - 何事にも意欲的に取り組み、その目的を、達成するために、最後まで努力することである。
  - 常に積極的、活動的であるという特性が備わっている。
  - ほんとうの「やる気」は「何ごとかを自発的、積極的に、根気強く、最後までやり遂げようとする意欲」である。
  - やる気はどんなことに、どれくらいの興味、好奇心をもっているかで決まる。

### 調査 ①

#### <子どもが考えているやる気(意味)>

- 何かやろうとする気もち。
- 一つのことを最後まで頑張ること。
- 「やるぞ」という心がけ、気もち。
- 頑張る力、心の動き。
- 必ずやってやる、成功してやるぞ。
- 自信、喜び。
- 実行しようとする心。
- その他。
- わからない(3人)。

\*どの子も何らかの形で意味をとらえている。

\*わからないと答えた子が3人いたことは意外であった。

### (2) 「やる気」と子どもの成長

- 「飲みたくない馬に水を飲まそうとしても飲まない」  
この言葉は、意欲の無い者は、何を与えても、飛びついて来ない。と言うたとえである。
- いくら環境を整えてやっても「何かをしよう」という意欲つまり「やる気」がなければ何ごとともできない。学びとれない。
- 「やる気」があるか無いのかで、努力の仕方もちがう。努力の差は、結果の差になる。極端に言えば人生の差にもなる。

調査 ②

<やる気のある子とない子の学校での様子(態度)>

やる気のある子	やる気のない子(具体的に)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から進んで物事に取り組む。</li> <li>・何ごとにも真剣に取り組む。</li> <li>・最後まで根気強くやり遂げる。</li> <li>・ただしい意味での競争心もある。</li> <li>・進んで考え、自分の力で最後まで頑張り通す。</li> <li>・何ごとにも積極的に行う。</li> <li>・いろいろなことによく気がつき、発言も聞く態度もよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲がない。</li> <li>・清掃、係の仕事など他人まかせ。</li> <li>・失敗が多い。</li> <li>・学習の成果が低い。</li> <li>・忘れ物、提出物、きまりに無関心。</li> <li>・話しを聞く態度も悪い。 (私語、いたずら、じゃまをする)</li> <li>・自分の能力に気がつかない。</li> <li>・自分の願望にも気がつかない。</li> <li>・言動の自覚に気がつかない。 (無気力、無関心、無責任)</li> </ul>

\*やる気のない子が、教室で、みんなにおくれをとることがわかる。

\*「自分の人生はやる気との戦いである」と気づかせる。

(3) 「やる気」の起こり方

- ・やる気という「気もち」と「心の構え」の問題だけに、むずかしい。教育現場の大事な課題である。
- ・やる気を、起こす効果的方法は千差万別である。

調査 ③

<やる気の起こり方>

子どもはどんなときに、やる気を出すか

どんなときに、やる気がなくなるのか

家庭で	学校で	家庭で	学校で
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自分で進んでやる時</li> <li>◎ほめられる時</li> <li>○よいことがあった時</li> <li>◎ご飯を食べる時</li> <li>◎はげまされた時</li> <li>◎回りがきれいになる時</li> <li>○学校でよいことがあった時</li> </ul>	<p>授業中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○好きな科目の時</li> <li>◎発表する時</li> <li>○本を読まされた時</li> <li>○意味がわかった時</li> <li>◎タイトル作って決した時</li> <li>◎よくわかる時</li> <li>○わからないことがわかった時</li> <li>◎ほめられた時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎しかられた時</li> <li>◎ねむたい時</li> <li>○遊んだあと</li> <li>○ちゃんとやっているのに起こられた時</li> <li>○身の回りが散らかっている時</li> <li>○疲れている時</li> <li>○機嫌が悪いとき</li> <li>○けんかをした時</li> </ul>	<p>授業中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎きれいな科目の時</li> <li>◎先生が怒っている時</li> <li>◎わからない時</li> <li>○体育のあと</li> <li>○授業の意味がわからない時</li> <li>◎しかられた時</li> <li>◎忘れ物をした時</li> </ul>

<p>◎父母、妹が病気の時</p> <p>○外出する時</p> <p>○仕事をまかされた時</p> <p>○「がんばっている?」「わからないところある?」などと聞いて力になってくれる時</p> <p>○お母さんが好きな時</p>	<p>○授業がはずんだ時</p> <p>◎授業をしっかり聞いた時</p> <p><b>働く時・勤労</b></p> <p>◎ほめられた時</p> <p>◎みんなで頑張る時</p> <p>◎「きれいだね」といわれた時</p> <p>○お願いされた時</p> <p>○みんなに役だった時</p> <p>○みんなに喜ばれた時</p> <p><b>その他</b></p> <p>◎いろいろな心の話をしてくれた時</p> <p>○何か選ばれた時</p>	<p>(両親)</p> <p>◎文句を言われた時</p> <p>◎勉強をなさいと何回も言われた時</p> <p>○親が病気の時</p> <p>○学校でいやな気分になって帰った時</p> <p>◎たたかれた時</p> <p>○「もう寝なさい」といわれた時</p> <p>◎友だちとけんかをした時</p>	<p>○気分が悪い時</p> <p>○「あんなこともわからないのか」といわれた時</p> <p><b>働く時</b></p> <p>◎みんなが怠けて遊んでいる時</p> <p>○やり直しをさせられた時</p> <p>○押しつけてやらせる時</p> <p>○役だっていないと思った時</p> <p>◎自分だけが仕事をしている時</p> <p>◎文句をいわれた時</p>
--	---	--	---

調査③の「やる気の起こり方」を分類して整理すると

<p>①目標達成をはかろうとしたときに、やる気が起こる。 予習復習する、意味がわかった、思っていたことが言えた、ちゃんとやろうと思った、うまく清掃ができた・・・とき</p> <p>②自己実現をはかろうとしたときに、やる気が起こる。 はげまし、心の話を聞く、</p> <p>③興味・関心、欲求を起こしたとき、やる気が起こる。 外出するとき、好きな科目、好きになったとき、学校行事</p> <p>④認められたり、ほめられたとき、やる気が起こる。 きれいだねといわれたとき、お願いされたとき、みんなに喜ばれたとき、選ばれたとき、</p> <p>⑤役立ちたい、みんなのためになりたいと自覚したとき、やる気が起こる。 手伝い、父母の病気の時、手紙を書く、</p> <p>⑥その他 物的面の環境でやる気を起こすこともある。 テレビ、ラジオ、扇風機がまわる・・・</p>
--

\*子どもの夢や願いが強いほど、子どもの生活は意欲的になることがわかった。

\*意欲は活動の原動力である。やる気とは、この意欲のことであることがわかった。

\*子どもによって「やる気」の動作は種々、さまざまである。

調査④

<やる気と言葉>

いやな言葉  
やる気を失う

下品、  
アホ、ブス、デブ、  
バカ、気がきかない  
バカヤロー、  
なまけ者、いばっている、  
もっと早く、  
はごうーあっち行け、  
どろぼう、うそつき、  
太っている、やせている、  
特にない(3人)

その他  
自分が気にしていること、人の悪口  
文句、自分が傷つく言葉、けなし文句  
自分のことはたなにあげて注意するとき。

好きな言葉  
やる気がでる

継続は力なり、  
くじけずに、勝利、  
努力、  
希望、生きている限り、  
天才は99%の努力と1%のひらめき、  
たよりになるさー、よく働くネ  
がんばっているネ、  
気がきくネー、  
かっこいい、ありがとう、  
:えらいさー、また頑張れ

その他  
ほめる言葉、ていねいな言葉、励ます  
言葉、学級目標の言葉。

<やる気と言葉>

授業場面における教師の言葉

子どもがいやがる言葉  
やる気を失う

だめだ、  
こんなこともできないのか、  
やる気があるのか、  
~のくせに、ちゃんとしなさい、  
お前は帰れ  
もっと早くできないのか、  
何言ったらわかるのか、  
ぐずだ、

子どもが喜ぶ言葉  
やる気がでる

その調子でがんばれ!  
うまいぞ!  
がんばれよ!  
おりこり、  
よくやった!  
すごい!  
さすがあー、えらい、  
りっぽ!  
ありがとう、

調査 ⑤

<やる気をだす努力（児童側）>

やる気をだすために、あなたはどのように努力していますか。

- ◎目標を立ててやるようにしている。
  - ・最後までやるようにしている。
- ◎よいことをたくさんやるようにしている。
  - ・「やる気」が好きになるように心がけている。
  - ・がんばるぞ！と自分に呼びかけている。
  - ・わかるように、わかるようにとがんばっている。
  - ・自分の目標を大事にしている。
- ◎ほめられるようにがんばっている。
  - ・一日のめあてを決めている。
  - ・気をひきしめている。
  - ・自分にきびしくしている。
  - ・怠ける気もちをおさえるようにしている。
  - ・体を動かすようにしている。

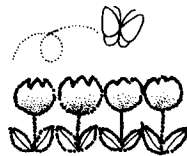
動かさないとやる気がなくなる。
- ◎絶対あの人をぬくぞ！と目標をもってやっている。
  - ・きれいな科目をなくそうと努力している。
- ◎くじけずに最後までやるようにしている。

※ できる、できないにかかわらず子どもの内面にある「やる気の努力」に気づく担任でありたい。

※ 行動になって外に現われない「やる気」は内面で子どもを支えていることがわかった。  
(もの静かで、おとなしい子の「やる気」にも気がつく担任でありたい。)

※ 「やる気の努力」についても個に応じた適切な助言が必要だとわかった。

例 努力のしかた、目標と努力のかかわり。





調査 ⑥ 今、やる気をだして、実行していること、その理由

- ◎サッカー・・・楽しいから
  - ・運動会練習・・・小学校最後だから
- ◎自主学习・・・学力をあげたいから
- ◎剣道・・・体きたえるため
  - ・時間を守ること・相手に迷惑をかけない
- ◎クラブ活動・・・楽しいから
- ◎反省文を書かされないように・・・よいことでないから
  - ・委員会の仕事・・・人の役に立つから
  - ・動作を機敏にしている・・・集団行動をきれいにする
  - ・手伝いをする・・・好きだから
  - ・社会の学習・・・苦手だから好きになるため
  - ・合奏、小説を書く、バスケット、絵をかく・・・好きだから
  - ・掃除、洗濯・・・役に立つから
- ◎いろんな人と仲良く・・・友達を増やしたい
- ◎勉強・・・将来、恥かきたくないから
  - ・きらいな科目をなくする・・・好き嫌いはよくないから
  - ・下校の放送を・・・責任だから

・これまでの調査した6項目「やる気」は、児童理解そく指導の手引きにして個を伸ばすことに役立つ。P97のまとめの表を参照

(4) やる気の工夫 (A)

<語り聞かせ>

・語り聞かせで「やる気」を内面から育てる。

<聞くことについて反省>

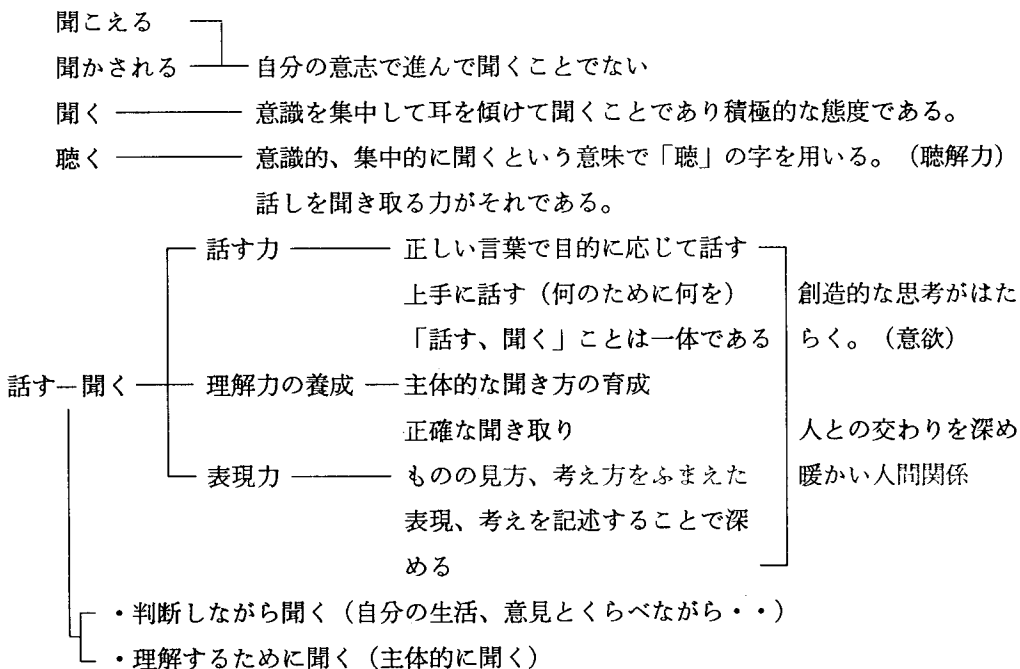
・「話す」ことに重きを置きすぎ、「聞く」方は軽くみたことを学級経営の中で反省したことがある。

例えば

- ・人の話しをよく聞かず自分の思うことをまとめもしないで話す子が増えた。聞くことのできる能力、態度、習慣が身につかず困った。
- ・よく聞く子と聞き方の下手な子とでは考え方もちがいが、発言内容にもちがいがる。
- ・よく聞かない子は話しの趣旨をはき違えて自己流の解釈をのべ客観的な発言ができない。
- ・聞き取り方に誤解が多く、もちろん態度も悪く落ち着きがない。交友関係もよくない。
- ・聞く力のない子は、上手に話すことができないこともわかった。

\*聞くことの機能はその根底に人間づくり、理解のある人づくりがあるとされている。そして理解力の養成として位置づけられている。そのことをふまえて「語り聞かせ」で「やる気の人づくり」を考えた。

<聞くことの意味と役割>



\*聞く指導をしている学級と、そうでない学級の差は大きい。聞くことの指導が満足にいない学級は、どうしてもおしゃべりが多く、授業にもしまりがなく、落ち着きがない子が増えてくるといわれている。……………先輩方の助言から

調 査 ⑦

話材収集のための調査

聞きたい話しと、わけ

<p>◎生き方について……正しい生き方をしたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の欠点の話し……なおすところがあるから</li> </ul> <p>◎心の話し……自分のためになる、自分がよくなるから</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の思い出話し……先生のことを知りたいたいから</li> </ul> <p>◎みんなのよいところ</p> <p>◎幽霊の話し……おもしろいから</p> <p>◎生きるのに役立つ話し……よい人間になりたいから</p>	<p>◎人生経験談……自分に役立たせたい</p> <p>◎ためになる話し……自分もこんな風に生きたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会(世間)話し……世の中のことがよくわかりたい</li> <li>・先生の恋愛話し</li> <li>・事件の話し……こんな風にならないで済むようにしたいから</li> <li>・ことわざが聞きたい……はげみにしたい</li> </ul> <p>◎笑い話し……楽しいから</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が休んだときの学校のようす……</li> </ul>
--	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙の話し……これから先知りたい</li> <li>・失敗談……参考になって失敗を防げる</li> <li>・どうしたら学力アップするか</li> </ul>	<p style="text-align: right;">おくれるから</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスのよいところ……力（自信）がつくから</li> <li>・自分のよいところ……恥ずかしいが聞きたい</li> </ul> <p>◎実話でこわい話し……好きだから</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史の話し……先生は長い人生をあゆみいろんなことを知っているの</li> </ul>
---	---

聞きたくない話しと、わけ

<p>◎人の悪口……自分のことだったらと思う といやだ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長い話し……時間がかかるから</li> <li>・悪い話し……自分も悪くなるから</li> <li>・自慢話し……自分が下になるような気分になる</li> </ul> <p>◎ためにならない話し、へんな話し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うわさ話し……事実でない場合が多いから、人に害を与えるから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績の話し……はずかしいから</li> <li>・むずかしい話し……たいくつするから</li> </ul> <p>◎人の文句……かわいそう</p> <p>◎ぐち……いやな気分になる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たいくつする話し……おもしろくない</li> </ul> <p>◎わかりきった話し……新鮮味がない</p>
--	--

調 査 ⑧ こんな語りかけをしてほしい（担任へ）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく、聞こえるように（声）</li> </ul> <p>◎やさしい顔で語りかけてほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・笑わすのが上手に</li> <li>・人のためになるように語りかける</li> </ul> <p>◎笑いながら、にこにこしながら語りかけてほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・励ますように語りかけてほしい</li> <li>・楽しく語りかけてほしい</li> </ul> <p>◎笑顔でやさしく語りかけてほしい</p>	<p>◎やさしい言葉で語りかけてほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がこうすれば、こうなるぞ……という語りをしてほしい</li> <li>・わかるように語りかけてほしい</li> <li>・あなたはどうか、がんばっていますか、私もうがんばるから……と語りかけてほしい</li> <li>・人生のあゆみを語りかけてほしい</li> </ul>
--	--

※ 子どもはパンを欲しがっているのに石をあたえる教師にならないようにする。

※ 子どもの期待に添えるように教材を考え語り方も工夫する。

個を大事にへ子ども一人ひとりに接するときに役立てる

名まえ	春子	夏子	秋男
こんな子どもになりたい(目標)(四月)	まじめで手伝いが上手に(保母)	素直な心と勉強がうまくなり(看護婦)	動作が機敏になりたい(スポーツマン)
こんな学級にした(目標)(四月)	明るく、なまけ者のいない学級	うそ、ごまかしのない助け合える学級	みんなで団結する学級
学級とは(調①)	○	○	×
やる気とは(調査①)	○	△	×
聞きたい話し	心の話し	先生の思い出	笑い話し
やる気がでるとき(調③)	・ほめられたとき ・手伝いをたのまれたとき	・楽しいとき ・よくわかるとき ・お父さんが病気のとき	・おもしろいとき ・ゲームのとき ・みんなと遊ぶとき
やる気がでないとき(調③)	・一人でやっている時 ・忘れ物をしたとき ・家族に病人がいたとき	・授業の意味がわからないとき ・しかられたとき	・先生がおこっている ・まじめが長く続くとき
好きな言葉(調④)	・ありがとう ・たよりになるサー	・がんばれよ ・よくやったね	・すごいぞ・うまいぞ ・遊ぼう
嫌いな言葉(調④)	アホ、ブス、くず	デブ、太っているね	・はやくやれ ・何やっているか ・先生の子のくせに
やる気をだすために(調⑤)	ほめられるように努力している	気をひきしめて行動している	先生を不愉快にさせないようにしている
今、やる気でやっていること(調⑥)	ミニバスケット 自主学習	クラブのリーダー 委員会の仕事	サッカー 塾の学習
どんな接し方をするか(語りかけ)(調⑧)	笑顔で、励ますように語りかけを・・・	「こうすれば、こうなるよ・・・」と話して	楽しく、やさしく、にこやかに・・・

調査研究でわかったことを、子ども一人ひとりにまとめ、個人の理解と指導するのに役立てる。

例 秋男の場合

- やる気の意味(義)がわからない。学級は楽しませてもらっている。
- ※ 当番、係活動が消極的で受け身的である原因の一つがわかった。
- ※ タイミングを考えて話してわからせる。
- 遊び、ゲームの時だけでなく授業の場でもやる気がでて、態度が良くなるように手だてを考える。
- ※ 本人の好きな言葉を使って(うまいぞ、すごいぞ)今、やる気を出して、がんばっていること。 (塾の学習、サッカー) このことを念頭において接していく。

## (5) 「やる気」の工夫 (B)

— ほめ方、叱り方 —

### ① ほめる、叱るの意味

<ほめるとは>

- ・ 祝うこと。
- ・ 優れていることを認めること。

※物事を評価し「良し」としてその所有者、行為者にその気持ちを伝えること。

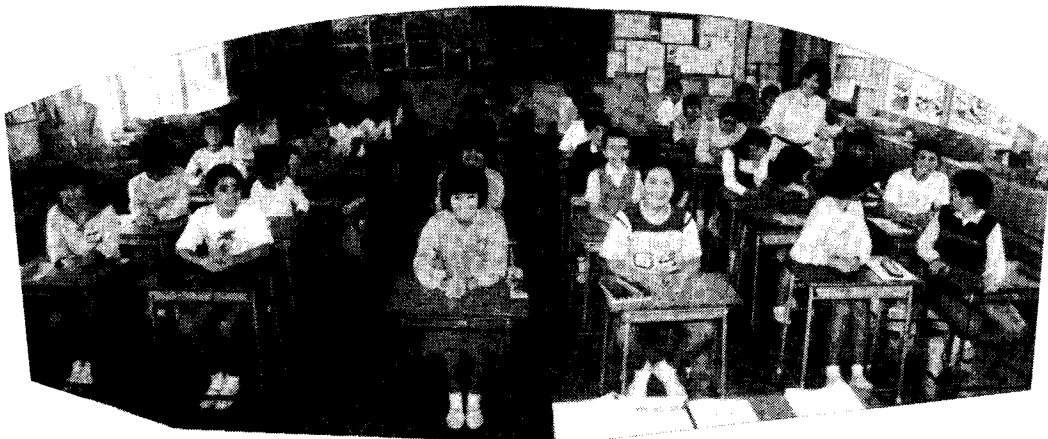
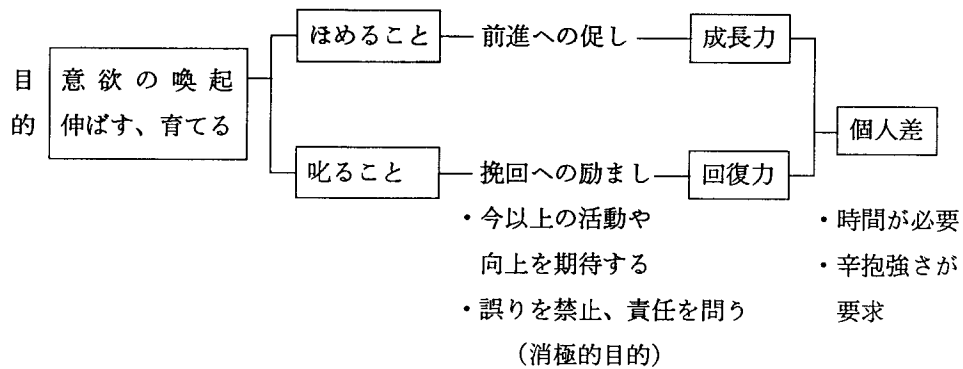
<叱るとは>

- ・ 相手のよくない言動をとがめて、よくないと言って、強く注意すること。
- ・ 相手のエラーやミスをとがめたり、注意すること。

※叱ることは、教えることである。相手を育てる、成長させるための方法である。

### ② ほめる、叱ることの目的

- ・ 人を育てる二本立ての原理である。
- ・ 相手を伸ばす、育てることがねらいである。
- ・ 相手の意欲を喚起し、成長を促すことがねらいである。



「勇気ある行動」について→ほめる。ほめる相手の場所で語る。

③ 例

イメージ化しやすい言葉ではめる

例	子どもが変化する言葉	変化する前に使っていた言葉	そのわけ
① 清掃指導	あなたのおかげで廊下が生まれ変わったよ。ありがとう。	廊下がきれいになったよ(ね)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あなた」という言葉で一人に限定していることを、はっきりさせる。</li> <li>・「生まれ変わる」いままでと、まるっきりちがう、という意図をもっている。</li> <li>・「ありがとう」という言葉で結び労をねぎらう。</li> </ul>
② 運動会の練習	全員が整列するのに2分かかりました。今日は1分60秒でした。次は、どれだけで整列できるか楽しみだ。	とても、はやく整列できましたね。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な時間が示されて、どれほどよくなったか、はっきりしている。</li> <li>・ほめると同時に次への期待を語り、向上意欲を引き立てる。</li> </ul>
③ 教科学習(音読)	あなたの音読が、みんなの心にひびいています。	感情豊に読みましたね。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手を意識した評価</li> <li>・みんなにも認められている。</li> <li>・聞き手に十分伝わっているというイメージをあたえている。</li> </ul>
低学年の例	<u>忍者</u> になって歩きましょう。	廊下を静かに歩きましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インパクトの強い指示、敵にみつからないように、ぬき足さし足で歩く。足音をたてないで人差し指を口に当てて、シーとささやきながら、歩いていきます。</li> </ul>

向上の変容を自覚させる言葉

- ① 美を意識させるもの
- ② イメージが喚起されやすいもの
- ③ 知覚作用を促すもの
- ④ 個別に、ほめられたと子どもが意識するもの
- ⑤ 大きさ、広がりを感じさせるもの

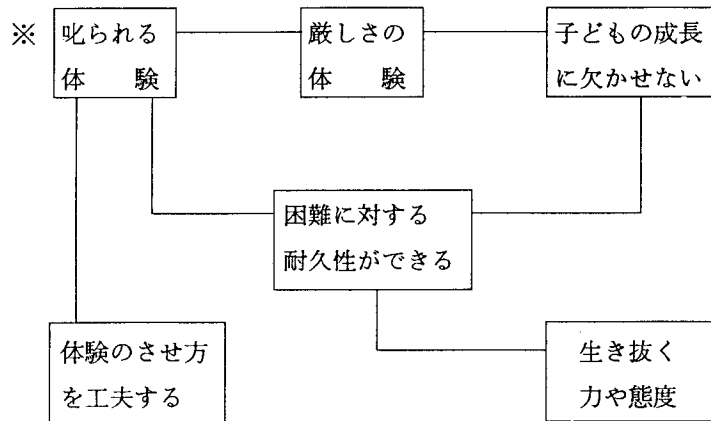
※ どこでも、誰でも使う言葉で子どもをほめないのがコツである。

※ 「感動なき言葉は、もはや、ほめ言葉ではない」と言われている。

<学級づくり研究所より>

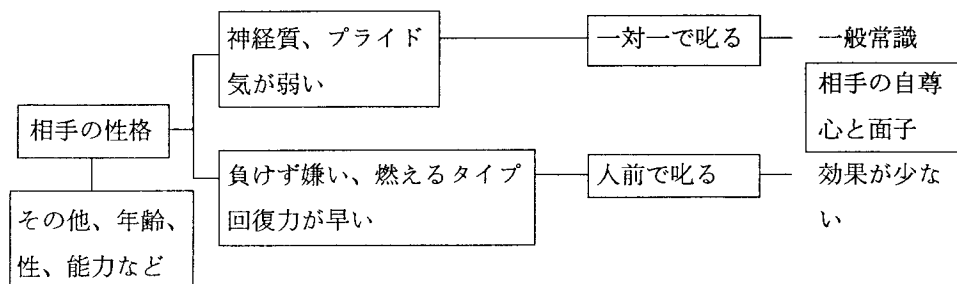
<叱る>

- ・今していることが間違いであり、それを正さなければならないことを伝えるものである。
- ・叱ることはその人の人格を傷つけたり、人間関係が悪くなる可能性もあり、いろいろとマイナス面が考えられるので、ほめることより、はるかに難しい。
- ・叱られる体験も大事である。  
叱られた体験の少ない子は、困難に対する忍耐が乏しい。



④ 叱る心得・三つの視点

(ア) 「一対一」で叱るか、「大勢の前」で叱るか、相手の性格を考える。



※川上監督が、王選手は一対一で叱り、長島選手は人前で叱る・・・この両面を使いわけて成功した。

- (イ) 周囲に及ぼす影響を考えて叱る。内容が緊急性を要するか、どうか考えて、「君だから、みんなの前で叱ったのだ・・・」とフォローしておくことをわすれないようにする。
- (ウ) 相手の場に行って叱る  
呼びつけて叱るか、行って叱る。

⑤ 高度な叱り方

- ・叱らない「叱り方」……反省を無言で促している。
- ・さりげなく気づかせる。ハイテクな叱り方
- ・受け入れ態勢をつくらせる切り出し方……大きなミスをしたときは相手の気持ちも高ぶっている。切り出しの一言で後の言葉の強さをやわらげる。
- ・相手の逃げ場を用意する叱り方……信長、秀吉、光秀の例

叱り方の問題（敵意をいただく）

⑥ ほめ方、叱り方の留意点

<叱る>

- ・相手をほめるには相手の活動の細かいところまで、よく見なくてはならない。
- ・相手をよく見ていないと効果的な叱り方はできない。
- ・結果だけ見て叱っては効果はない。失敗のプロセスを問題にして、その人の能力、努力、やる気に分けて叱る。時には失敗をほめてもよいのではないか。
- ・叱ることが怒ることになるとマイナスの効果を生む。
- ・叱りにあせりは禁物である。
- ・叱ることでも、ほめることでも、相手の進歩向上を願ってのことであることを忘れてはならない。
- ・自分の信念だけをしっかり言うことの方が相手の心を動かす。
- ・叱る理由をよく考え整理すること。
- ・叱るタイミングと方法を考えること。
- ・感情的にならないこと。
- ・効果を考えて（人を見て）叱る。
- ・進歩向上のためにどうすればよいか教えつつ叱る。

（改めたり、進歩向上したら、すかさずほめる。）

※叱るためのクッションとして「ほめる」ことを用いれば効果がある。

<ほめる>

- ・心にもないことを伝えないこと・・・おだてにならないこと。
- ・ほめ方の原点は自分の気持ちと感じたことや相手の良さを素直に伝える。
- ・ほめることを惜しまずに。
- ・ほめ方は間違えると、有頂天、いばる、自信過剰の要素を生み出す。
- ・子どもを操作するために「ほめる」人は失敗する。



学級づくりの年間計画（語り聞かせ）＜第一学期＞

7		6		5		4		月
<ul style="list-style-type: none"> <li>七夕集会</li> <li>健全育成</li> <li>短縮授業</li> <li>期末PTA</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プール開き</li> <li>体力テスト</li> <li>慰霊の日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>春の遠足</li> <li>学級PTA</li> <li>PTA総会</li> <li>内科検診</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの日</li> <li>歯の検査</li> <li>避難訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>始業式</li> <li>入学式</li> <li>身体測定</li> <li>と検査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭訪問</li> <li>一年生を</li> <li>迎える会</li> </ul>	行事		
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全帽をかぶりましょう。</li> <li>チリ紙、ハンカチを毎日持ちましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機敏に行動しましょう。</li> <li>安全な遊びをしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気な声であいさつをしましょう。</li> <li>右側を通りましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持ら物に名まえを書きましょう。</li> <li>名札をつけましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持ら物に名まえを書きましょう。</li> <li>名札をつけましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持ら物に名まえを書きましょう。</li> <li>名札をつけましょう。</li> </ul>	生活目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>勇気、自然愛、不とう不屈</li> <li>より高い目標をたて希望と勇気をもって努力する。</li> <li>自然の偉大さ知り、自然環境をよくする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>礼儀、友情、信頼</li> <li>時と場所をわきまえて礼儀正しく真心をもつて接する。</li> <li>互いに信頼、学び合う、助け合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>向上心、個性伸長、公德心</li> <li>自分の特徴を知って、悪いところを改め、良いところを伸ばすようにする。</li> <li>公德心をもって、きまわりを守る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人命尊重、思いやり、親切</li> <li>誰に対しても思いやりの心をもつ。</li> <li>相手の立場にたって親切にする。</li> <li>生命が、かけがえのないものであること知り、自他の生命を尊重する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人命尊重、思いやり、親切</li> <li>誰に対しても思いやりの心をもつ。</li> <li>相手の立場にたって親切にする。</li> <li>生命が、かけがえのないものであること知り、自他の生命を尊重する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人命尊重、思いやり、親切</li> <li>誰に対しても思いやりの心をもつ。</li> <li>相手の立場にたって親切にする。</li> <li>生命が、かけがえのないものであること知り、自他の生命を尊重する。</li> </ul>	道徳		
<ul style="list-style-type: none"> <li>自由研究、生活時間の計画、体験的活動、計画などの構想を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの課題を追究する重要性の理解と実践化</li> <li>むし歯予防を自主的に実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習の指導の観点から趣味を生かす。</li> <li>自分の課題解決、読書など余暇の善用を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最高学年としての自覚と、めあてを持った生活態度を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最高学年としての自覚と、めあてを持った生活態度を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最高学年としての自覚と、めあてを持った生活態度を育成する。</li> </ul>	学級活動		
<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みを楽しく、安全に過ごす計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主学習の工夫</li> <li>歯の健康について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食指導について</li> <li>交通安全について</li> <li>献霊の日について</li> <li>余暇の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最上級生としての自覚</li> <li>各種集団活動への参加</li> <li>読書指導について</li> <li>学級の目標をきめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最上級生としての自覚</li> <li>各種集団活動への参加</li> <li>読書指導について</li> <li>学級の目標をきめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最上級生としての自覚</li> <li>各種集団活動への参加</li> <li>読書指導について</li> <li>学級の目標をきめる</li> </ul>	学級活動		
<ul style="list-style-type: none"> <li>「聞くこと」について④</li> <li>7月の生活目標について</li> <li>人の役にたつことはよいことか</li> <li>算数の力は積み上げること</li> <li>油断はみんなの敵だ</li> <li>ほんとの楽しさは、やるべきことをやっただ後</li> <li>人を思う心は、どんな心</li> <li>音楽はいい音で</li> <li>私はこう変わった</li> <li>夏休みの体験を聞こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「聞くこと」について③</li> <li>6月の生活目標について</li> <li>体力について</li> <li>厳しさと優しさについて</li> <li>私にとって時間とは</li> <li>歯の役割について</li> <li>向上心と学習</li> <li>清掃と雑巾</li> <li>平和について考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「聞くこと」について②</li> <li>5月の生活目標について</li> <li>家庭学習と自主学習について</li> <li>心の土台とは</li> <li>笑顔について</li> <li>毎日が子どもの日</li> <li>水難事故 交通安全</li> <li>相手の立場で行動を</li> <li>仲間はすれ</li> <li>すぐれた1冊の本とのめぐり合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「聞くこと」について①</li> <li>人間にはくずはない</li> <li>生命について</li> <li>目標について（学校、学年、学級）</li> <li>4月の生活目標について</li> <li>安全な生活態度について</li> <li>親の願いについて</li> <li>（家庭訪問にかかわって）</li> <li>学ぶことと態度について</li> <li>意見の述べ方</li> <li>席をかえることについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「聞くこと」について①</li> <li>人間にはくずはない</li> <li>生命について</li> <li>目標について（学校、学年、学級）</li> <li>4月の生活目標について</li> <li>安全な生活態度について</li> <li>親の願いについて</li> <li>（家庭訪問にかかわって）</li> <li>学ぶことと態度について</li> <li>意見の述べ方</li> <li>席をかえることについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「聞くこと」について①</li> <li>人間にはくずはない</li> <li>生命について</li> <li>目標について（学校、学年、学級）</li> <li>4月の生活目標について</li> <li>安全な生活態度について</li> <li>親の願いについて</li> <li>（家庭訪問にかかわって）</li> <li>学ぶことと態度について</li> <li>意見の述べ方</li> <li>席をかえることについて</li> </ul>	語り聞かせの話題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の会 10～15分</li> <li>帰りの会 10～20分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゆとりの時間 20～45分</li> </ul>	※くわしい時間設定は次の表で		<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の会 10～15分</li> <li>帰りの会 10～20分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の会 10～15分</li> <li>帰りの会 10～20分</li> </ul>	時間設定		

<時間設定について> ○印は、語りかけの時間

	朝の自習、 朝の会 8:15~8:30 8:30~8:40	帰りの会 3:10~3:20
月	朝の自習と朝の相談会	○6校時 ゆとりの時間 (帰りの会は連絡事項のみ)
火	読書活動 (8:15~8:40)	帰りの会 (10分~15分)
水	全校朝会 (8:15~8:40)	クラブ活動 (自主下校)
木	朝の自習と朝の相談会	帰りの会 (10分~15分)
⑤	お話を聞く (8:15~8:40) (25分)	帰りの会 (10分~15分)
土	学級での指導 (10分)	*「一週間でわかったこと」 を書く (20分)

<ゆとりの時間の割り振り 月曜日の6校時>

- ◎1週目 月生活目標について      ◎3週目 お話を聞く時間  
◎2週目 学校生活に関すること      ◎4週目 学習に関すること



「人間の幸せと愛」について語り聞かせる。子どもの横からさりげなく。

## IV 学級経営の実践

### 1、「語り聞かせ」の年間計画を作る……年間計画表は別紙（P103）

4つの視点で作成

- (1) 担任と子どもの信頼関係が土台になるように。
- (2) 聞く→考える→書く（表現）・・・継続することを考えて。
- (3) 楽しく学べる話題を考える・・・聞く意欲、興味関心
- (4) 道徳、学級指導にも組み入れるようにしたい・・・実践化への意欲

### 2、「語り聞かせ」の展開

(例) 話題 <人間にはおおよそくずはない>

平成3年4月6日（始業式） 学級指導 45分

そんな学級にしていきましょう。 励まし会 支え合い 認め合い 支え合い	一人ひとりよい子 ※ 先生は、次のような信念（考 え方）をもっています。 ・人間には、おおよそ、くずは いない ・どの子も心のスイッチを入 れると必ず光ります	人間は、みんな、何らかの価値 があるから、この世に生まれて くるのです。だめな人なんてい ないのです。だれもがよい人で あり、すばらしい人なんです。 だめなように見えても、心のス イッチを入れると光り出すもの です。六年三組、三四人います。 みんな、よい子だと思います。 すばらしい子だと思います。 一人ひとりのよいところを、ど んどんひき伸ばし、全員の命が キラキラと輝くような、学級を つくりたいと思います。	△語りかけ 1V
---	---	---	----------

#### 話しを聞いて

- ・自分は何もできないので「くず」かなと思っていたが安心した。
- ・心のスイッチ入ると光ると聞いてわかったが、意味があまりわからない。  
スイッチの入れ方を詳しく教えて下さい。
- ・おもしろい話だった。ためになりそうな話だった。

新しい素材が生まれた。

- ・心のスイッチの意味と入れ方を具体的に例をあげて語ることを考えた。

次時予告……みんなも考えておいでね。

平成3年4月7日（朝の会） 10分

(心のスイッチの意味について)

考えた子がいたら、その子を起用する。

\*幸いに本人が考えてきたので本人に報告してもらおう。

「心を起こして、何でも実行する。行動する。ぼくの心は、いつも寝ていることが多く、お母さんにスイッチを入れてもらっているのです、これから自分でします。」

\*すごい考えです。・・・ありがとう。一件落着、パチパチ・・・

\*みんなも心のスイッチを自分で入れる子になろうね。

(例) 話題 <よい子になる近道>

平成3年4月10日(朝の会)先生のお話の日 20分

△語りかけ 2V

※ よい子になる近道 ※  
 先生は、次のような信念をもっています。  
 ・よい子になる近道は人の話しをよく聞くことです。  
 (中学生の手紙)  
 ・聞き方が上手になれば学力向上も間違いなし!  
 自分の欲しいものが手に入る!  
 ◎ まず聞く姿勢から!

「学習は聞くことから始まる」といわれています。わたくしもそうだと思います。人の話しをよく聞く子と聞かない子とでは、まず努力の仕方が、ちがいます。話を聞かない子は、失敗が多く、学習の結果もよくありません。かわいそうなことに自分のよさにも気づかないことが多い。もし「落ちこぼれ」という言葉があるとすれば、それは、ほとんど自分でつくる落ちこぼれだと思えます。  
 ※なぜそうなるの? それはね(聞くことの意義を話す)  
 皆さんに差があるとすれば、「聞くか、聞かないか」の差です。みなさんは、力のあるりっぱな六年生です。「励まし合い気づかせ合い」よく聞く子を増やす学級にしようね。

話を聞いて

- ・わたしは、これまで先生の話しを聞くことは難儀だとばかり思っていたがそれは得をすることだとわかった。これからは、考え違いをしないで、進んで話しを聞くことを実行する。
- ・落ちこぼれは、先生のせいだと思っていたが、これも間違いだとわかった。実際は自分自身で努力不足や話しを聞かないことが、原因であったとわかった。

メリット

子どもの勘違いが二つも気づかすことができた。どのような行動(聞く態度)になるか、観察と確認をする。ほめるところを見つけるよう努力する。

(例) 話題 <わたしと目標>

平成3年4月10日(学級指導) 45分

△語りかけ 3V

※ わたしと目標 ※  
 先生は、次のことを信じてがんばっています。  
 ・目標なき者は、時として努力することを忘れる。  
 (中学生の手紙)

自分に目標があると、まず、がんばりやすくなります。元気が出てきます。生き生きとした充実した毎日が送れます。時間も大事に使えます。悪いことも考えなくなりやすくなります。だから楽しくなるのです。  
 わたくしたちのまわりに、いろんな言葉で、いろいろな目標があることに気づくでしょう。  
 学校、学年、学級そして個人の目標と・・・  
 (学校、学年の目標は説明して聞かせましょう。)  
 ・学級の目標は、みんなで話し合ってつくってみましょう。  
 ・個人の目標は自分で考えてつくってみましょう。  
 「自分の生き方の中で、考える、きつとりつぱな目標ができると思えますよ。目標に向かって、がんばる姿は美しい。たとえ衣服が汚れ、汗にまみれていても、貧しくとも・・・価値ある姿です。」

話を聞いて

- ・目標はただ書いておくものだと思っていたが、自分が頑張るために大切なものだとわかった。野球選手が目標だ。それに向かっているのだから、野球だけはうまくいっているのだとわかった。学級の目標もよく考えて守ろう。人が美しく見える姿とは頑張っている姿とは思ってもみなかった。美しく見られるために清掃を頑張ろう・・・と考えた。

※「心の土台」でビルを※  
先生は毎日、次のようなこと  
を大事にして、みなさんと向き  
合っています。  
※「心の土台なしには、学という  
ビルは建たない」  
(校長先生の言葉)  
あなたの心は、どんな形をし  
ていますか。色は、においは、  
△先輩の作文を読み聞かせ、  
語る▽  
教科の学習に基礎や基本があ  
るように心にもある。これを心  
の土台といきましょう。  
洋子さんの心の土台は、「ねば  
り」と「やさしさ」です。京子  
さんの心の土台は「素直さ」と  
「謙虚さ」ですね。教くんは  
「がまん強さ」です。  
洋子さん、京子さん、教くん  
が何かやるたびに成功するのは  
この心の土台のせいなのです。  
さて自分の心の土台を見つけ  
てごらん。点検してごらん、土  
台がぐらついていませんか。し  
っかりしていますか。修理の時  
期にきていませんか。  
この心の土台が、やがては、  
あなたの学問のビルディング、  
幸福のビルディングを築き上げ  
るのです。  
みんな、励まし合いながら  
みごとにビルを建てましょう。  
心が変われば考えが変わり行動  
が変わります。人生だって変わ  
ります。

△語りかけ  
▽

### 話しを聞いて

- ・人の心について、深く考えたことがなかった。
- ・京子さん、教くんが何でもできるのは、先生の子だから、頭がよいからと思っていたが、そうではなくて、心の土台のためだとわかりファイトができた。
- ・いっぱい勉強しても、あまりよくないのは、時々やって、ほったらかす心のせいだとわかった。頭が悪いからではないとわかった。気をつけようと思っている。
- ・もっと深く心の土台について知りたいので、もっと聞かせてほしい。
- ・先生の心の土台も知りたい。先生のようにになりたいから。
- ・「心の土台なしでは・・・」この言葉が好きになった。ひきしまるような気分。
- ・心を変えただけで人生が変わる。心は大切なものなのだ。でも心の変え方がよくわからない。

### 語りかけの話題と工夫

1、子どもの本音と実感に根ざした話題を選ぶ。(納得させるもの)

- ① 著名な人の言葉をかりる。本や作文の紹介で語りかける。教師の体験を語りかける。
- ② 班ノート、個人ノート、手紙からの言葉や考え方を引用して語りかける。
- ③ 語りかけてもらいたいこと、考えてもらいたいことをアンケートしてそれを使って語りかける。例 調査8
- ④ 児童が作った事実から語りかける。

例 運動会のリレーでビリになった事実から・・・

教訓を引き出し語りかける。負けることから学ぶことがある。

敗者の気持ちを学ぶチャンスにする。

※自分は「どう生きるべきか」単にあこがれとして聞き取らせるのではなく決意まで高め  
るように語りかける。「人生ただ一度」を基にした語りかけをする。

### 3、「一週間をふりかえって」の記録と実際

#### (1) 考え方

- ① 「心の土台なしには学というビルは建たない」
- ② 「学ぶ」ということは、子どもの何かが、どこかが、変わることである。

#### (2) ねらい

- ① 考える力の基づくり・・・心の変容
  - ② 学力向上の基づくり・・・知的変容
  - ③ 生きぬく力の基づくり・・・行動の変容
  - ④ 喜び、自信、意欲の基づくり・・・学び続ける態度の変容
- \* 内面から、生き方の自覚を促すことを、ねらいとして行う。

#### (3) 書き方

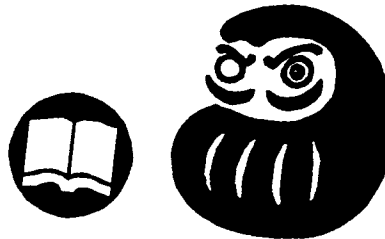
形式 タイトルは「一週間でわかったこと」とする。

内容 わかったこと、実行したこと、その他

	四、 結び	3. 2. 1.	三、 4 自己点検	3. 2. 1.	二、 実行したこと	3. 2. 1.	一、 わかったこと	前書き	一週間でわかったこと (一週目) なまえ
--	----------	----------	--------------	----------	--------------	----------	--------------	-----	----------------------------

- 注 ・前書き、結び・・・自由な発想で書く
- ・わかったこと・・・簡条書きにする。自分の考え意見も書くようにする。
  - ・実行したこと・・・できたこと（家、学校）を簡条書きにする。
  - ・自己点検・・・点検項目を自分で作って工夫して表す。

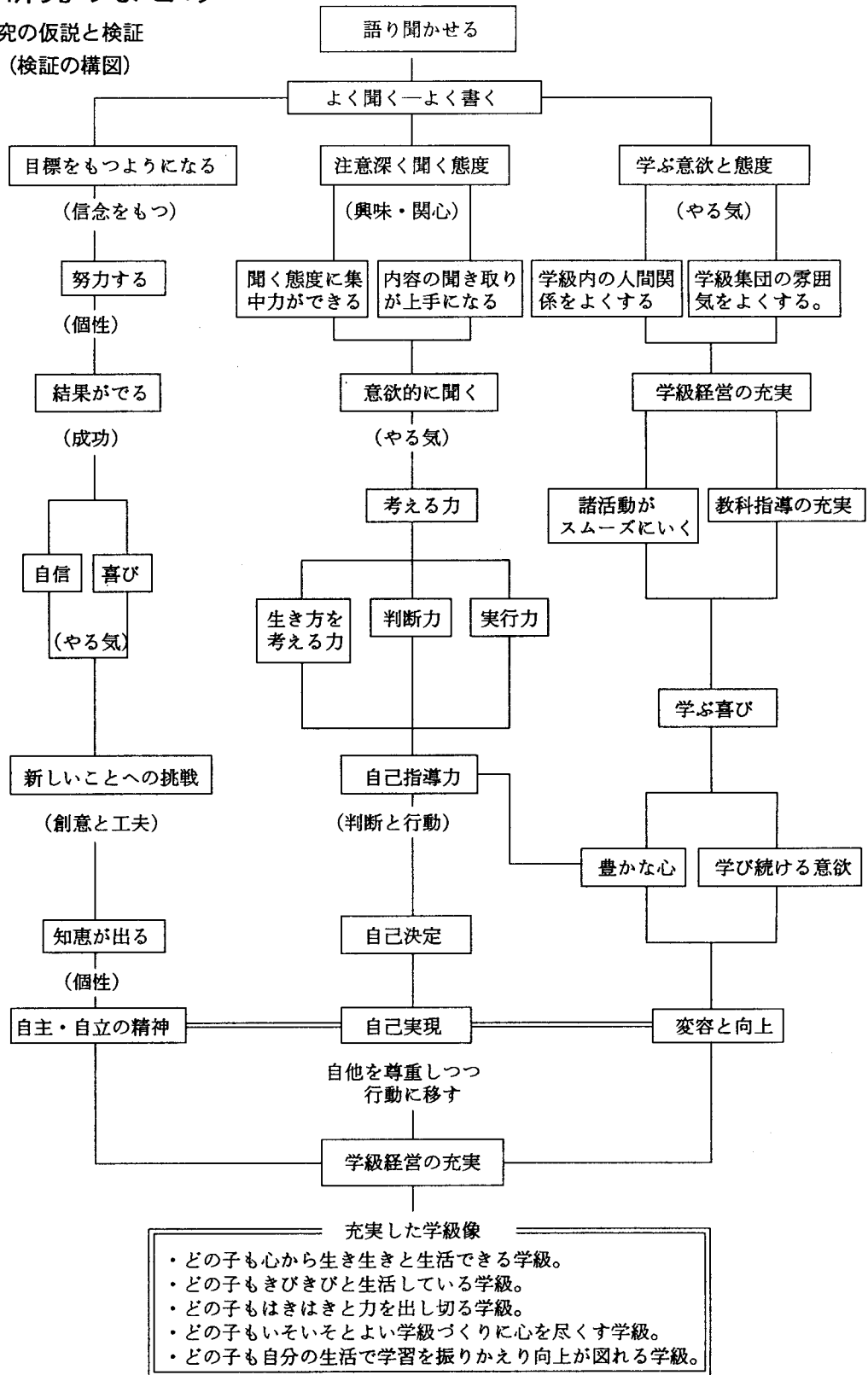
「七転び八起き」  
「継続は力なり」





# V 研究のまとめ

## 1 研究の仮説と検証 (検証の構図)



充実した学級像

- どの子も心から生き生きと生活できる学級。
- どの子もきびきびと生活している学級。
- どの子もはきはきと力を出し切る学級。
- どの子もいそいそとよい学級づくりに心を尽くす学級。
- どの子も自分の生活で学習を振りかえり向上が図れる学級。





## 2 研究の結果

教師が、語り聞かせることで、児童の内面にある考え方を、より好ましい方向に変え落ち着きと、真剣な生活態度をつくることができた。また、聞いてわかったことを書くことによって、自らの考えを深めつつ、確認させ、自分の進路や、生き方について自覚させる方向にもっていくことができた。

このようにして、児童の内面に培われた生き方の自覚は、自ら学ぶ意欲や態度、つまり「やる気」を高め、教科の学習をはじめ、その他の活動も積極的に行動するようになった。

基本的な授業態度、生活態度をよくすると同時に、6年生らしい気配り（あいさつ、言葉使い）でまわりの人々に接し、人間関係を円満にする工夫もできた。このような、一人ひとりの変容がもとになって、学級の雰囲気をおだやかにして、児童一人ひとりが自分に満足して過ごすことのできる学級になった。（担任の観察でとらえたことを述べると）

- 話しの聞き方が上手になるにつれ、考え方もよくなり、行動も6年生らしく、発表力にもつながっている。
- 話しを「自分の生き方の問題として」真剣に聞き取り、努力を続けた子が、質のよい変容をしている。意欲的に行動している。
- 話しを聞いて「わかったこと」「実行したこと」この二つが調和のとれた子は生き生きと活動している。
- 語り聞くことで培われた「心の土台」は、子どもの内面を豊にし、他人への接し方に、ていねいさと、落ちつきが見られ、好感を与えている。  
友人関係も、おだやかになり、よい意味での競争心もでてきた。
- 語り聞くことで、子どもの内面に培われた「やる気」つまり、学ぶ意欲は、自らの生活態度をよくし、学習の取り組みも意欲的になった。テストの成績もよくなった。
- 語る内容が難しく、わからない子が、まわりの友だちにつられて、聞いているうちに、少しずつ、わかるようになったと喜びを語っている。じーと座っている間に、がまん強さと忍耐力がついたのが儲けだと苦笑する場面もある。
- 長い話しは聞きたくないと言っていた児童が、いつのまにか「もっと話してください」と、話しをねだるようになった。
- 教科の学習が楽しく展開できるようになった。児童の発表力に支えられた授業展開は教師にとって楽で、課題解決の方法も多様になり、充実する。  
（子どもとともにつくる授業、わかる授業、楽しい授業、授業で子どもを変容させる、教師にとって魅力のある言葉である。やればできることを両方で確認できた。…(児童の声別紙)
- 児童の自ら学ぶ意欲や態度（やる気）が小→中→高→…とどのように持続させ、自己実現に役立っているか課題になっている。

卒業の日の子どもたち → 最後の授業

- ・立てば ——
- ・座れば ——
- ・歩く姿は ——



卒業証書授与を待つ二人



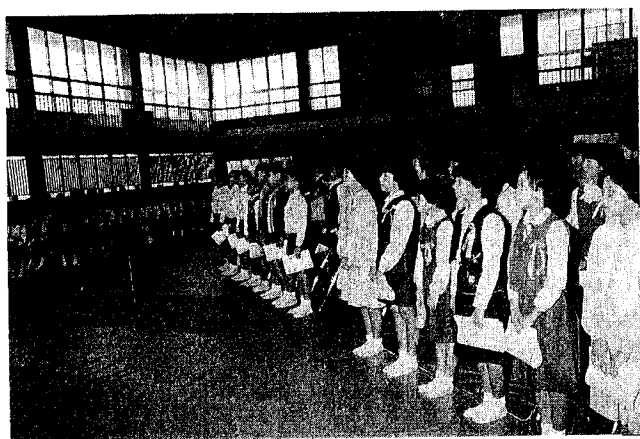
授与が終った児童と校長の瞬間



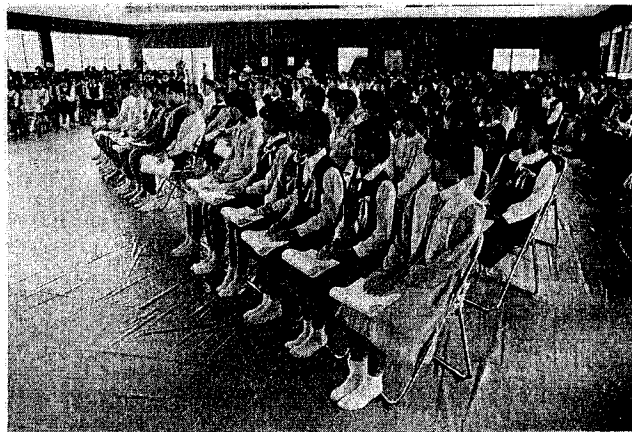
授与が終って席へもどる足どり



祝福の言葉をうける顔、顔…



送る言葉をうける姿



祝福の言葉を、うける顔、顔…

### 3. まとめと今後の課題

「言葉は心の使い」と言われているように、言葉はその人の心の現れである。子どもの心を育てるには、ほとんど、言葉を使ってやっている。「語り聞かせ」もその例である。

言葉によって、児童を理解し、意志の疎通をはかっている。言葉の使い方によって、相手にやる気を出させたり、失わせたりすることもあり、また、人間関係を円滑にしたり、閉ざしたりすることもある。

研究テーマ「やる気をとおして、充実した学級経営の工夫」は、特に目新しいことではなく、一般的になされていることである。一つの方策として、「語り聞かせる→書かせる→自覚する→やる気」という手順で、継続して実践した結果、少なからず効果があったと思う。しかし、聞き取る力や学ぶ意欲に個人差があり、指導を要する児童もいる。生意気盛りの児童（6年生）の心に感動を与える話しかけ、魅力のある語りかけができるように、話の内容も道徳性に富んだ話題や、楽しい話題を考える必要がある。また、話し方も一本調子で、せかせかしては効きめがない。かなり立てるのも児童は受け入れないでしょう。相手の立場や状況に応じて、落ち着いた静かな口調で、表情豊に語り聞かせる話術（技能）を身につけることを今後の課題にしたい。そして学級経営の中で、常に、児童と教師の人間関係を大切に考え、ともに人間としての力をつけていきたい。今度の研修で学んだことを、教壇実践に生かして、今後も研さんを重ね、学級経営の充実に努めたい。

最後に、これまで、ご指導と励ましを下さいました所長の嘉手刈喜郎先生、中頭教育事務所の先生方、県教育センターの與古田清正先生、当研究所の指導主事伊波義雄先生、運営委員の先生方、たいへんお世話になりました。厚くお礼申し上げます。宜野湾小学校の校長先生はじめ諸先生の暖かいご声援は大きな支えになりました。感謝申し上げます。

#### 主なる参考文献

- ・みえる学力、見えない学力……………岸 本 裕 史……………大月書店
- ・子どもの体力……………正 木 健 雄……………大月書店
- ・学年、学級経営……………吉 本 二 郎……………ぎょうせい
- ・若い教師のための学級経営相談……………井 上 裕 吉……………明治図書
- ・自己教育を育てる先生……………北 尾 倫 彦……………図書文化
- ・やる気を育てる学級経営……………秋 川 政 則……………明治図書
- ・教師の話し方と表現力……………岩 浅 農 也……………国土社